



## 週報 第3106回

会長 白谷 喜世彦 副会長 原 真理子  
幹事 小門 茂樹 SAA 山本 博章

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津  
TEL 0725-20-1121  
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501

メールアドレス info@izumiotsu-rc.org

ホームページ http://izumiotsu-rc.org



## 今週の例会(2021年3月19日)

## ■ プログラム

卓話担当 平山 和之 会員

## ■ 次週のプログラム

3月26日:定款の規定により例会休会

## ■ 今後の予定

- ・3月28日:地区大会(会長・幹事・選挙人)
- ・4月 2日:クラブフォーラム  
南出 和成 親睦活動委員長
- ・4月 9日:卓話担当 今井 克範 会員

## ■ 祝 誕生日

釜野 典子(19日)  
白谷 喜世彦(21日)  
砂原 孝史(23日)

## ■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

## ■ 先週の例会

## 会長の時間

昨日は3月11日、あの東日本大震災からはや10年が経過します。そのせいでテレビ番組も311の特集ばかりです。あの地震で東北の人たちは本当にひどい目にあいました。でも問題は地震よりも、津波と原発でした。しかし、あの地震で大きな影響を受けたのは東北の人たちだけではありません。私たちが大きな影響を受けています。一番は復興税です。東北地震の被害復興のため多額の国費が投入されています。この負担をいまでも法人は負担し続けています。もうひとつは、原発稼働停止による、電力料金のアップと、廃炉にむけてのコストがまんべんなく国全体にかかっています。このように日本全国に大きな影響を与えた地震でした。まだまだ復興にはいたらず、原発事故の片付けもできていませんが、それなりに10年たち、落ち着いてきたように思えます。ところが今回さらに追い打ちをかけるかのように、コロナによるパンデミックが発生しました。コロナは地震とは比べ物にならないくらいに私たちに大きな影響を与えています。さすがに、ここまで長引くと、経済的にはもちろん、心の面でもこたえてきました。原発、コロナと私たちの生活を破壊することが次々におこっています。杜甫の詩に、「国



白谷 喜世彦 会長

## IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3106回

破れて山河あり、城春にして草木深し」という詩があります。このように、私たちの生活が大変になって、日本が厳しい状況のおかれても、それはあくまでも、国家体制であり、これまで人が築いてきたものにしかすぎません。この国があるのは事実だし、私たちの生活自身もあるのは変わりありません。国に、これまでいかに頼るのでなく、いま自分たちで新しい体制に対応していく生活を創り出していくときだと思えます。このために必要なのは、これまでの延長上の社会であれば、まわりをみて、うまくいく方法を見つけて、要領よくこなしていれば何とかかなりました。そこで大事なのは個人の機転と要領です。でも、世の中がここまで変わるとそんなやりかたではなんともなくなっています。そこで必要なのは、変化に対応していくこと。しかし世の中の複雑な変化や状況に一人一人に対応していくには限界があります。いまこそ、信頼のできるネットワークが必要とされるときだと思えます。こんなネットワークにロータリがなればと期待しています。

## ■ 幹事報告 小門 茂樹 幹事

地区大会は会長、幹事、選挙人だけの参加となりますので、ご注意いただきますようお願い致します。又、地区大会記念ゴルフ大会も中止になっております。

## ■ 委員会報告

○65周年記念誌「会員の横顔」への写真・原稿寄稿のお願いですが、返送状況が悪いということなのでどうか3月末の期限までといわずにできるだけ早く提出いただくようお願い致します  
(八木 秀富 65周年記念実行委員長)

○本日メールボックスに、職場訪問・見学のご案内を入れさせて頂いております。4月9日(金)例会終了後、株式会社HC Iさん(泉大津商工会議所1階のROBOT CENTER、アルザ泉大津第2棟3階のROBOT・AI LAB)を見学させて頂く予定にしております。但し会場の都合により先着16名とさせて頂きまして、早めに事務局までFAXをお願い致します  
(杉本 憲一 職業奉仕部門理事)

## ■ ビジター

なし

## ■ 出席報告 会員数44名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
3/12	37名	7名	—	84.09%
2/26	35名	9名	1名	81.82%

## ■ メークアップ

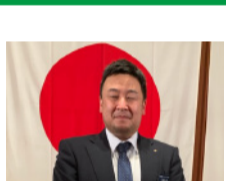
榎本(2/22 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

## ■ ニコニコ箱

- ・松内さん、小野寺さん、宜しくお願いします(白谷)
- ・本日、松内会員、小野寺会員、卓話宜しくお願い致します(小門)
- ・本日の卓話、松内会員、小野寺会員、よろしくお願致します(山本(博))
- ・欠席と早退のおわび(泉谷)
- ・前回例会欠席のおわび(小野寺)

ニコニコ箱合計	9,000円
累計	536,000円

## 先週のプログラム 「新入会員卓話」



小野寺 巧 会員

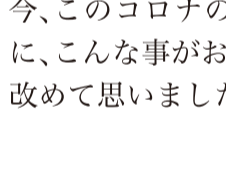
ご無沙汰しております。何度も例会を欠席しまして申し訳ありません。2度目の卓話です。宜しくお願い致します。昨日11日は東日本大震災から10年目でした。5日の夜にふと思い立ち、6、7日と福島県いわき市に行ってきました。当時、被害にあった堤防や家屋の基礎に描かれていた花や鳥などの絵が今、どのようになっているのか気になっていました。現地を訪れ海岸線を見て驚きました。堤防がかなり高くなっていて当然、描かれていた堤防も全くなく位置も変わっていました。

震災被害にあった豊間中学校も移転され跡地には震災伝承館が建てられていました。奇跡のピアノと呼ばれる修復されたピアノもそこにありました。

近くの塩屋崎灯台にも行きました。灯台の上からみる海はとても景色がよく、津波被害を起こした海にはとても感じませんでした。塩屋崎灯台で購入したハンカチは現地を調べて行きたいと思った目的の一つでした。

ボランティアで描かれた絵も修復されたピアノもハンカチも震災に対する人の気持ちがかもったものでした。現地を訪れて本当に良かったです。50年たった人が入れ替わり忘れてしまいました。

今、このコロナの事や震災の事を未来のことも達にも、こんな事がおきるんだよ。と教えていきたいと改めて思いました。



松内 俊夫 会員

こんにちは松内俊夫です。初めての卓話宜しくお願い致します。

昨日久しぶりに大阪ミナミに出て不動産業の学生時代の友人等と会食し不動産管理業の意見交換等をいたしました。

それと昨日3月11日は10年前に「東日本大震災」があった日で御座いました。偶然では御座いますが私の祖父も3月11日が命日で御座いました。墓前で家族が健康であることへの感謝の意をお伝えいたしました。

初の卓話は西田さんがコロナにおける対策を話されておりましたので私もコロナ禍での自分の仕事と題して現状とこの一年間私は何をしていた今後の対策は？とお話させていただきます。御聞き苦しい所々あるかとは思いますがご容赦くださいませ。どうぞよろしくお願いいたします。

正業は祖父の代からの松内清毛織物とあと父親が作った(有)ロイヤルスクエアと言う不動産管理会社を受継いで経営しております。

まず不動産管理業のロイヤルスクエアの現状ですが基本的に売り上げは前年とかわりません。対策ですが不動産管理業の方は先程申しました通り現状では大丈夫ですが、今後各補助金助成金等々が無くなっていった時にどうなるのか？と言うことをシュミレーションしなければなりません。それとこれはコロナとは関係ないかも

しませんがアパートの方も築30年超の物件も出てきております。物件をみながら立地状況今後の周辺の諸々の事情を予測しつつ、売却するか？売却して違う物件を購入するか？それとも改めてお金を借りて建て替えるか？考えていきたいと思えます。

正業の繊維業はコロナ以前より一部業界再編があり、弊社にもそのあおりを受け数年前から昨年まで年々売り上げが減少しました。しかしながら製造工程で創意工夫しながら利益率は前年を毎年上回る業績をあげていました。しかし今年はそうもいなくなり更に業績は更に悪化する見込みで御座います。正直コロナ対策は？と申しましてもほぼ無策で御座います。

正業の売り上げが落ち込んでると申し上げましたが会計士には3年前くらいに「社長また給料下げないといけませんね」と言われていました。そんなこともありその下がるかもしれない給料の補填に約3年前から投資信託を始めまして、たまたま昨年本当にたまたままとまったお金ができてまとまって投資いたしました。今後は株を始め資産運用を積極的にしていこうと考えております。

時間がありますのでもう一つ、次の日曜日南浜寺にてイベントいたします。イベントと申ししましてもボランティアで子どもたちのダンスチームのPA(音響機器)のお仕事です。その合間に趣味でありますDJも少しさせていただきます。

## IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3106回

## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを結んで、国際理解、親善、平和を推進すること。

## 四つのテスト

=言動はこれに照らしてから=

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか